

第3期北海道スポーツ推進計画（2023～2027）骨子案

計画の位置づけ

- ・ スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画
- ・ 北海道スポーツ推進条例、国の第3期スポーツ基本計画の内容を踏まえ策定

政策の展開方向の考え方 ～スポーツを取り巻く環境と目指す姿～

第2期計画

- ◇ RWC2019や東京オリパラ等 **ビッグイベントでスポーツの注目の高まり**
↓ **好機をとらえ**
- ◇ めざす姿「スポーツ王国北海道」

取り巻く環境

- ◆ コロナによる日常生活、社会経済活動の打撃 → スポーツに親しむ機会の喪失
- ◇ 東京・北京大会のどさんこ選手の活躍 → 道民に夢と感動、未来の希望を与える。
- ◇ 北海道の豊かな自然環境 → 国際舞台で活躍する選手を数多く輩出
- ◇ プロスポーツチームは、地域とともに歩み、応援の輪が広がる。
- ◆ 北海道の総人口の減少 → 将来的な競技水準低下・参画人口減少の懸念
- ◆ 運動部活動改革（地域スポーツへの移行）
→ 未来を担う子ども達のスポーツ機会・環境確保が喫緊の課題

第3期計画

- ◆ **コロナウイルス発生や北海道の人口減少など、現在・将来の課題を**

- ◇ 「**スポーツの持つ力**」(*)と「**北海道の潜在力**」(**)で打破し、

※ スポーツを「する」ことによる健康増進、「みる」ことによる感動、「ささえる」ことによる一体感の醸成等のスポーツの持つ意義や役割
※※豊かな自然環境を背景に国際舞台で活躍する選手を多く輩出していった優位性のある地域

- ◇ めざす姿 **スポーツを通じた「将来にわたる持続可能な社会の実現」**

施策の展開方向 ～基本方針（柱立て）と今後の取組の方向性～

1 スポーツ参画人口の拡大とライフステージに応じたスポーツのあるくらしの充実

する・みる・ささえるといった多様な形でスポーツ参画人口の拡大を図るとともに、全ての道民が、生涯にわたり、あらゆる場面において、スポーツに親しむことができる環境づくりをめざす。

- (1) 様々なライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (2) 子どもの心身の健全な発達と体力向上のためのスポーツの機会の充実
- (3) スポーツに親しむ環境（場）の充実
- (4) スポーツの観戦・応援の気運の醸成

～今後の取組の方向性～

- 地域のスポーツ環境の充実に向けた人（指導者）・場（総合型クラブ設置促進・質的充実等）の確保・拡充
- 官民連携組織運営による参加・気運醸成に関する協働の促進

2 北海道ならではの特色を生かしたスポーツによる地域の活性化と共生社会の実現

北海道の恵まれた自然環境等を生かしながら、スポーツを通じた地域間・国際交流などによる地域の活性化を図るとともに、障がいや性別その他の事情に関わらず自主的・積極的にスポーツに参加でき、ささえあうことができる社会の実現をめざす。

- (1) 北海道ならではの特色を生かしたスポーツによる地域の活性化
- (2) スポーツの成長産業化
- (3) スポーツでつくる優しい共生社会

～今後の取組の方向性～

- スタジアム等を核としたまちづくりへの協力と食や観光といった魅力の発信
- 障がい者スポーツの情報発信・理解促進と多様な主体の支援の輪の拡大と団体の活性化・相互連携の促進

3 どさんこ選手の国際競技力の「向上」と「継続」

国際的または全国的な規模のスポーツの競技会において優秀な成績を収めることができるよう、選手の育成、指導者の養成、人材の発掘等を行い、本道の競技力の向上と継続をめざす。

- (1) 競技力向上に向けたどさんこ選手の強化と指導者の充実
- (2) 世界に羽ばたく次世代アスリートのすそ野の拡大と発掘・育成
- (3) 地域間・国際交流機会の拡大による競技力の向上
- (4) ウィンタースポーツの振興と競技力向上

～今後の取組の方向性～

- 冬季版HPSC（ハイパフォーマンスセンター）の設置への働きかけ
- 女性アスリートや多様な性のあり方に関する理解促進

4 スポーツの安全・安心の確保とささえる環境づくり

体罰や暴力の根絶と事故防止等スポーツの安全・安心の確保を図るとともに、ボランティア活動の参加拡大や選手のキャリアを生かすことができる社会の形成など、ささえる環境づくりをめざす。

- (1) スポーツの安全・安心の確保
- (2) スポーツボランティアの育成
- (3) アスリートのセカンドキャリア形成

～今後の取組の方向性～

- 競技団体のガバナンスコードの策定・公表の促進
- セカンドキャリア形成に向けた引退選手の活躍機会の拡充

5 オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの継承・発展

1～4について、東京・北京冬季大会開催により高まった気運を一過性のものとし、取組継続と札幌冬季大会等への継承・発展をめざす。